

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1591300239		
法人名	社会福祉法人 遊生会		
事業所名	高齢者グループホームまいらいふ燕(2ユニット共通)		
所在地	新潟県燕市小関1389番地4		
自己評価作成日	令和5年12月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1591300239-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和6年2月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成30年にオープンし、良質なサービスの提供や職員の定着など運営に安定感があるグループホームです。

「ご利用者様のお気持ちを最優先に」という法人の基本理念と「笑顔・思いやり・気づき」という介護理念を忠実に守り、ご利用者様本位のサービス提供に努めています。また、施設理念である「自立支援で笑顔を創る」を策定し、それぞれの理念の実現に向けて取り組んでおります。

職員はご利用者様お一人お一人の認知症の症状や心身の状態を観察しながら、職員間で情報を共有し、ご利用者様が生き生きとご自分らしく生活ができるようサービスの提供に努めています。

また、ご利用者様にとって最適な関わり方とは何かと職員が意見を出し合いながら一丸となって取り組むことで、職員間のチームワークが向上し、職員の定着率とモチベーションが向上いたしました。これにより以前よりも良いサービスが提供できていると実感しています。

ご利用者様にとって、ここでの生活がより充実し穏やかで安心できるよう、職員は寄り添い支え、「今日も良い日だったな、嬉しかったな」と思っていただけのような心をこめて支援させて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○併設施設と共に取り組む利用者支援

グループホーム「まいらいふ燕」は、事業所理念である「自立支援で笑顔を創る」に向かって職員が個人目標を立て、管理者との定期面談を通じて振り返りを行っている。窓から見える弥彦山を利用者と一緒に楽しむなど、気持ちに寄り添いながら生活の支援が継続されている。特別養護老人ホーム「遊生の町」と併設されており、玄関も共有となっている。地域交流室があり、地域の方からのボランティア活動などを開催しやすい解放された空間となっている。そこで開催される運営推進会議には、市の担当者と地域包括支援センター職員も参加され、地域情報の収集、地域交流を進めていく協力関係が築かれている。特別養護老人ホームの施設長も同席し、会議・委員会活動・研修内容と入所状況や事故報告など、丁寧に取り組み状況を報告している。運営推進会議の意見交換からカラオケセットが準備されるなど、そこでの話し合いは利用者のサービスの向上に結びついている。また、ユニット会議は、業務改善や職員個人の思い・意見を表出しやすいよう書面での事前提出で、その提案内容によっては会議に上げたり、各委員会や担当者へ伝え、職員の意見が運営に反映されるよう取り組んでいる。

○その人らしい暮らしを続けるための支援

併設施設と共有の玄関を使い、事業所の運営の取り組みや災害対策について併設施設と協力体制が整えられている。ユニットごとに異なった浴槽「檜風呂」と「チェア浴槽」があり、本人の希望や体調、状態に合わせての入浴支援に取り組んでいる。また、季節の食材を取り入れた献立で2日に1回は買い物に出かけ、調理したり、行事食には希望のメニューを工夫して一人一人の好みや力を活かしながら、季節感を感じ楽しんでもらえるように支援に努めている。ユニットの中庭はテラスで自由に往来できるため、洗濯物を干したり取り入れたり日常的に活用されている。プランターに野菜を育て収穫したり、張り合いや喜びのある暮らしを続けられるよう支援している。また、外出支援にも取り組んでおり、ドライブレクで出掛け、季節の移り変わりを感じたり、家族の協力を得ての受診や外出、外泊支援ができるよう、その人らしさを尊重した暮らしの継続に力を注いでいる。